

ユニセフが、新型コロナウイルス(Covid-19)の感染から子どもと学校を守るための新しい行動指針を発表しました。

日本ユニセフ協会が指針の主なポイントを、下記のように編集・抄訳しているので、ご紹介します。全文(英文)は、[こちらからダウンロード](#)できます。

～保護者の方々へ～

■ 正しい情報を

COVID-19の感染経路や症状、予防方法等に関する正しい情報を確かな情報源から得てください。口コミやインターネット上で広がる偽情報に注意しましょう。

■ 子どもたちの体調管理と感染予防

COVID-19の症状は、一般的な風邪とよく似ています。もしお子さんの具合が悪くなったら、医療機関の指示に基づいて受診しましょう。学校にも、症状を伝えてください。お子さんには、わかりやすい言葉で状況を伝え、安心させてあげましょう。お子さんが元気で、学校が開校しているなら、学校に行かせてください。通学を避けるのではなく、正しい衛生習慣を教え、家でも学校でも、正しい手洗いや、咳をするときに肘やティッシュで覆い、目や口を触らない、といった行動を実践できるよう教えてください。

■ 子どもの心に寄り添って

非日常の中で、子どもたちのストレスは様々な形で表出します。疲れなくなったり、おなかが痛くなったり、引きこもりがちになったり怒りやすくなるお子さんもいるでしょう。こうした反応を優しく受け止め、こうした状況では当然のことであると説明してください。お子さん的心配事に耳を傾け、なぐさめ、たくさんほめてあげてください。可能なら、遊んだり、リラックスする機会をつくってください。年齢に応じた情報を与え、何が起きているのか、自分の身を守るために何ができるのかを話してあげましょう。